

泊発電所3号炉 地盤（敷地の地質・地質構造）に関するコメント回答（Hm2 段丘堆積物の堆積年代に関する検討）  
における令和2年3月17日ヒアリング資料<sup>※1</sup>からの主な修正点について

※1 以降、「前回資料」と呼称する。

## 【本編資料】

章	該当頁 (前回資料)	該当頁 (今回資料)	修正・追加内容 <sup>※2</sup>
4.2.1 開削調査箇所 (北側)	P118～P120	P118～P120	<ul style="list-style-type: none"> <li>開削調査箇所（北側）に認められる河成の堆積物について、現有データに鑑み、記載の適正化の観点から、網状河川及びデルタ堆積物に関する記載を削除し、河口付近の堆積物との評価に留めた。</li> </ul>
4.2.2 開削調査箇所 (南側)	-	P562～P631	<ul style="list-style-type: none"> <li>南側壁面背後法面に認められる斜面堆積物（Ts3 ユニット）について、令和2年越冬後の分布状況写真を本編資料の巻末に参考として提示するとともに、旧海食崖、海成堆積物、斜面堆積物及び盛土のそれぞれの層相境界を明示した。</li> <li>上記の分布範囲について、令和2年越冬後のスケッチを追加した（P180～P181）。</li> </ul>
	-	P632～P641	<ul style="list-style-type: none"> <li>南側壁面背後法面に認められる斜面堆積物（Ts2 ユニット）について、上端部が海成堆積物に挟在する状況写真を本編資料の巻末に参考として提示した。</li> </ul>
	-	P198～P201	<ul style="list-style-type: none"> <li>南側壁面背後法面に認められる斜面堆積物及び海成堆積物の薄片試料について、粒子カウントを実施し、その結果を提示した。</li> <li>また、凡例のうち、これまで「粘土鉱物（泥基質）」としていたものについては、用語を適正化し、「基質（粘土鉱物含む）」とした。併せて既出の粒子カウント結果の凡例も修正した（P155）。</li> </ul>

※2 「修正・追加内容」中において参照している頁は、今回資料のものである。

章	該当頁 (前回資料)	該当頁 (今回資料)	修正・追加内容
4. 2. 2 開削調査箇所 (南側)	P180～P198	P182～P204	・ 南側壁面背後法面に認められる斜面堆積物については、対比のため実施した薄片観察結果等が、どのユニット (Ts1～Ts3) で実施したものを明確にするため、図表中に示された各堆積物にユニット区分を追記した。
	P196～P198	P202～P204	・ 南側壁面背後法面で実施している火山灰分析について、斜面堆積物 (Ts2 及び Ts3 ユニット) 中に認められる重鉍物を用いた屈折率分析を実施し、その結果を追加した。
4. 3 開削調査結果を 踏まえた F-1 断層 開削調査箇所付近 の地層区分	P258～P263	P264～P277	・ 開削調査箇所 (北側) の東側に位置する追加開削調査箇所について、斜面堆積物の状況写真及び海成堆積物中に認められるシルト混じり砂の薄層の状況写真を追加した。
5. 3. 1 開削調査箇所 (北側)	P350～P355	P364～P379	・ 小断層上端付近で採取したブロック試料の X 線 CT 画像について、複数の断面を追加した。 ・ X 線 CT 画像中に確認される線構造等についての解釈を記載した。
5. 3. 2 開削調査箇所 (南側)	-	P408～P409	・ 令和元年 11 月現地調査時に提示した小断層上端付近のはぎとり転写試料について資料化した。
	P384～P385	P410～P425	・ 小断層上端付近で採取したブロック試料の X 線 CT 画像について、複数の断面を追加した。 ・ 研磨片及び X 線 CT 画像における斜面堆積物と海成堆積物の層相境界については、研磨片観察及び X 線 CT 画像観察による相互比較を改めて実施し、より適正化した上で、当該位置とした考え方を記載した。 ・ X 線 CT 画像に認められる斜面堆積物と海成堆積物の層相境界付近に認められる線構造について、解釈を記載した。 ・ ブロック試料採取後の壁面における小断層上端の状況について資料化した。
	P392	P434	・ 小断層の走向・傾斜を計測した箇所の番号のうち、No. 4 と No. 5 が反対であることから修正した。
6. 2 F-1 断層の線形	P447	P489	・ F-1 断層の北端の評価について、追加調査結果を踏まえ見直しを実施していることが分かる様、追記した。